

令和2年度 第1回鶴岡市林業振興協議会

日時 令和2年5月29日（金）午後3時～

会場 出羽庄内国際村ホール

次 第

1. 開 会

2. あいさつ

3. 協 議

（1）森林環境譲与税の用途について

（2）意見交換

（木材生産への新たな支援及び木材の利用促進などについて）

4. その他

5. 閉 会

鶴岡市林業振興協議会委員名簿

任期： 令和2年5月1日 ～ 令和4年3月31日

No.	役職	氏 名	団 体	地 域	選 出 区 分	5/29 出欠
1	会長	皆 川 治	鶴岡市長			○
2		林 田 光 祐	山形大学副学長 (山形大学農学部教授)		学識経験を有する者	○
3		高 橋 守	庄内森林管理署 署長			○
4		梅 津 一 寿	庄内総合支庁 森林整備課長			○
5		山 本 益 生	出羽庄内森林組合 代表理事組合長		森林組合その他農林 業関係機関並びに関 係団体	○
6	副会長	本 間 文 夫	温海町森林組合 代表理事組合長			○
7		五十嵐 正直	鶴岡市生産森林組合 連絡協議会会長			○
8		加 藤 周 一	林業士	鶴岡	林業従事者の代表者	○
9		上 林 幹 夫	林業士	藤島		○
10		鈴 木 隆 一	林業士	温海		×
11		伊 藤 文 一	林業士	朝日		○
12		岩 浪 智 春	(株)岩浪木材センター 代表取締役	鶴岡	木材流通加工業者の 代表者	○
13		栗 本 正 幸	(株)大和 代表取締役	鶴岡		○
14		佐 藤 友 和	山形県建設業協会			○
15		斎 藤 留 吉	山形県建築士会 鶴岡田川支部長			○
16		川 上 清 太 郎	つるおか住宅活性化ネッ トワーク 副会長		森林組合その他農林業関係 機関及び関係団体	○

鶴岡市林業振興協議会事務局 出席者名簿

令和2年度

No	所属	役 職 名	氏 名	備 考
1	農林水産部	部 長	高 橋 和 博	
2	農林水産部	参事兼農山漁村振興課長	本 間 明	
3	農山漁村振興課	林 業 振 興 主 幹	熊 坂 誠	
4	農山漁村振興課	農山漁村振興専門員	五十嵐 祐介	
5	農山漁村振興課	農山漁村振興専門員	加 藤 信 二	
6	農山漁村振興課	専 門 員	五十嵐 英範	
7	農山漁村振興課	主 事	渡 邊 優 人	
8	藤島庁舎	産 業 建 設 課 長	成 田 讓	代 理 課長補佐 佐藤年幸
9	羽黒庁舎	産 業 建 設 課 長	秋 葉 敏 郎	
10	櫛引庁舎	産 業 建 設 課 長	高 橋 修 也	
11	朝日庁舎	産 業 建 設 課 長	岡 部 穰	代 理 主査 工藤 博
12	温海庁舎	産 業 建 設 課 長	上 野 衛	
13	庄内森林管理署	森 林 技 術 指 導 官	小 林 未 知 子	オブザーバー
14	建設部	建 築 課 長	坂 井 正 則	
15	市民部	環 境 課 長	佐 藤 尚 子	代 理 主事 北山 幸平

森林環境譲与税の使途について ～これまでの検討経過～

- R2.12.20 税制大綱により譲与税額が大幅に増額
 ・R2年当初交付予定額30,254千円が約2.1倍の 64,291千円に増額
 ・最大交付額となる時期が9年前倒され、R6に1億円交付予定

(単位:千円)

	R1	R2～R3	R4～R5	R6	R7～R10	R11～R14	R15～
改正前	30,254	30,254	45,381	45,381	64,290	83,199	102,108
改正後	30,254	64,291	83,198	102,108	102,108	102,108	102,108
増減額	0	34,037	37,817	56,727	37,818	18,909	0

- R1.12.26 令和元年度第1回林業振興協議会
 ・リモセン休止の改定報告
 ・R2年度予算の森林環境譲与税活用方針の検討

- R2.3.19 アドバイザリーボードの設置 (計4回開催し、下記事項について原案をまとめる)
 森林環境譲与税の活用や使途に関する助言及び検討の場

【協議内容】

森林環境譲与税の使途について

- ① 森林経営管理法の円滑な推進
- ② 路網の整備と適正な維持管理
- ③ 「切って・使って・植える」を促進するための多様な取り組み(森林整備関連)

アドバイザリーボードのメンバー

- ・野堀 山形大学名誉教授
- ・林田 山形大学農学部副学長
- ・庄内総合支庁森林整備課

- R2.4月中旬 リモセンの県主導による一括調査の実施について(要望書提出)
 ～5月中旬 ・市長会総会
 ・鶴岡市重要事業要望
 ・庄内地方重要事業要望

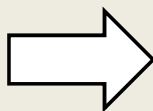
- R2.5.1 林業再生検討部会
 アドバイザリーボードの意見を踏まえた原案により協議

【協議内容】

- ① 森林環境譲与税の使途
- ② 6月補正予算(案)の内容

今後検討が必要な内容

- ・木材生産に対する新たな支援施策
- ・木材利用促進に関する施策



アドバイザリーボード・林業再生検討部会で検討し
 年度内の林業振興協議会で改めて協議

森林環境譲与税の使途の方針について (※アドバイザーボード(3/19, 4/10, 4/17, 4/24) 及び林業再生検討部会(5/1)の協議を踏まえた内容)

譲与税の活用方針

- ・鶴岡市の民有林4万6千haのうち、人工林が2万1千haで民有林の約45%を占めている。
 - ・人工林のうち、経営や管理が適切にされていない森林は、市が主体の新たな森林管理システムを構築し、適切に経営・管理を行うこととしている。
- ➡ このため本市では、森林環境譲与税を活用し、次の方針で森林整備を推進する。

具体的な方針

- 林業事業者による森林経営計画に基づく森林整備を基本とし、その整備を支援する。また、計画策定を後押しするためリモートセンシング調査のデータを提供する。
- 森林経営計画が策定されない森林は、①市が経営管理権を取得し、経営の再委託することで森林整備を促進し、②所有者が自ら管理する場合は、従来の支援制度を踏襲した支援を講じる。
- 具体的な森林整備を促進するため、路網整備による森林施業の効率化や間伐・保育の支援制度を強化するとともに、木材の利用拡大方策の検討を進めていく。

木材生産量の目標 (第二次総合計画)

R10:木材生産量 60,000m³

現状

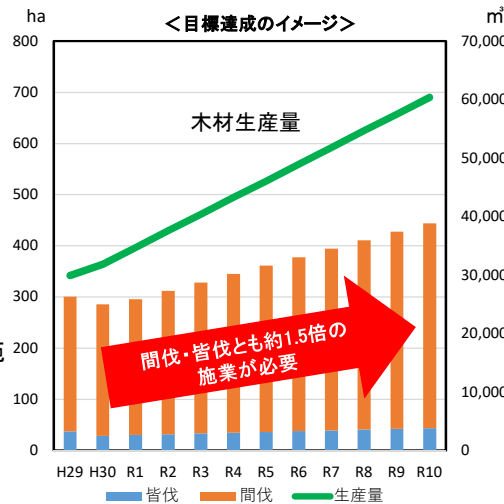
H30:木材生産量 31,831m³

課題

間伐・皆伐ともに約1.5倍の施業実施が必要

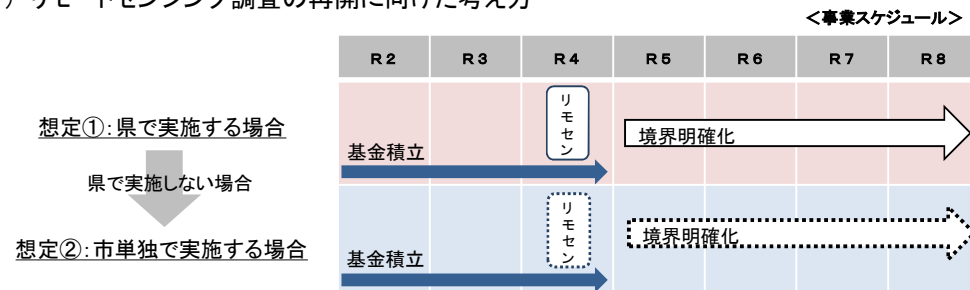
施策

- (1) ゾーニングやリモートセンシング調査の実施
- (2) 森林整備を促進するための補助金嵩上げ及び新規補助事業の創設



1 森林経営管理法の円滑な推進

- (1) リモートセンシング調査の再開に向けた考え方



- ・県主導による実施を要望しているが、目的が立たない場合は、R4市単独で実施
- ・境界明確化には複数年を要するため、具体的な明確化は地区を分割し実施

- (2) 森林経営管理制度の全体計画の策定

ゾーニング作成及び意向調査対象森林の抽出業務委託(R2)

第1段階 ゾーニング (R2) (補正予算額 1,667千円)

→既存の森林簿等のデータを使用し、ゾーニングを実施

第2段階 ゾーニング (R4予定)

→精密なリモセンのデータを使用し、データの更新及びゾーニングの修正

- (3) 地域林政アドバイザーの件費(R2) (補正予算額 1,289千円)

森林・林業に関して知識や経験を有する者を雇用(週2日勤務)

- (4) 経営管理法推進組織の設立の検討(ゼロ予算)

2 路網整備と適正な維持管理

- (1) 木材搬出コストを下げるため、幅員の狭い林道曲線部等の拡幅工事(R2~)

(R2当初予算額 2,085千円)

- (2) 林道の機能回復を図るため、既存水路の土砂撤去作業(R1~)

(R2当初予算額 977千円) (補正予算額 1,273千円)

- (3) 林道の機能回復を図るため、竹を利用した簡易な横断側溝の設置(R1~)

(R2当初予算額 200千円)

- (4) 事業者管理作業道の機能向上・機能回復を図るための補助制度を創設(R3~)

- (5) 大型車両が通行できない市道・農道等の拡幅改良工事(R3~)

3 「切って・使って・植える」を促進する取り組み

- (1) 間伐・保育の補助の支援制度の創設(R3~)

- (2) 松枯れ対策

・防風林機能が低下している箇所への植栽(R1~)

(R2当初予算額 500千円) (補正予算額 1,003千円)

・高度公益機能森林に隣接する2km範囲の民地内の松くい虫被害木駆除(R2~)

(補正予算額 3,000千円)

- (3) 山形大学農学部・山形県との共同研究(R2~) (補正予算額 300千円)

市有林を活用した森林整備の調査研究手法の検討 (R3にプロジェクト研究費を計上予定)

補正予算額(案) 合計8,841千円

森林環境譲与税に係る 令和2年6月補正予算(案)

(単位:千円)

使途項目	事業名	事業内容	R2当初	補正後	増減額	備考
1 森林経営管理の推進	①意向調査用務	全体計画作成業務委託 (ゾーニング計画作成及び意向調査対象森林の抽出業務等)	0	1,667	1,667	
		会計年度職員報酬1名・意向調査の消耗品費等	4,183	4,492	309	消耗品、報償費の増
	②森林経営管理	地域林政アドバイザーの人件費 (齊藤正一氏) (今年3月県森林研究研修センター退職、現在山形大学農学部 客員教授)		1,289	1,289	7月以降 週2日勤務
3 路網の整備と適正な維持管理	①木材搬出の低コスト化	市管理林道の局部改良工事	2,085	2,085	0	40m×5ヶ所 ゾーニング後に実施
	②林道災害予防対策	市管理林道において、排水機能の向上を図るため竹を活用した簡易な横断側溝設置	200	200	0	5ヶ所設置
		市管理林道において、排水施設の機能回復を図るため、既存水路の土砂撤去	977	2,250	1,273	9路線×250千円/路線
	③作業道の機能向上・機能回復を図る補助制度	林業事業体管理作業道の機能向上・機能回復に対する補助 補助金:事業費の1/3 対象工事:排水施設の設置工事等	0	0	0	R3以降実施 (R2の数量が不明なため)
④林道以外の搬出道路の改良工事	効率的な木材搬出をするために不可欠な大型車両の通行ができない市道や農道の拡幅工事を実施。	0	0	0	R3以降実施 (R2の数量が不明なため)	
4 「切って・使って・植える」を促進する取り組み(森林整備関連)	①森林整備	森林整備調査研究委託料 市有林を活用した森林整備の調査研究(山形大学農学部)	0	300	300	R3以降 プロジェクト研究費を計上
	②間伐補助金(嵩上げ)	対象森林:(森林経営計画・有 / 経営に適した森林) 既存補助事業:(森林施業支援事業 荒廃森林補助事業箇所以外) 補助率:32%補助の嵩上げ	0	0	0	R3以降実施 (該当する山林が無いため)
	③間伐補助金(創設)	対象森林:(森林経営計画・無 / 経営に適した森林) 市が経営を再委託する場合に創設 補助率:84%補助	0	0	0	R3以降実施 (市がまだ、経営管理権を取得した実績がないため)
対象森林:(森林経営計画・無 / 経営に適した森林) 既存の補助事業が終了した場合に創設 補助率:68%補助		0	0	0	R3以降実施 (該当する山林がないため)	

使途項目	事業名	事業内容	R2当初	補正後	増減額	備考
4「切って・使って・植える」を促進する取り組み(森林整備関連)	③再造林助金(嵩上)	対象森林:(森林経営計画・無) 補助率:10%補助	0	0	0	R3以降実施 (該当する山林がないため)
	③下刈補助金(嵩上)	対象森林:(森林経営計画・有) 補助率:10%補助	0	0	0	R3以降実施 (該当する山林がないため)
		対象森林:(森林経営計画・無) 補助率:42%補助	0	0	0	R3以降実施 (該当する山林がないため)
	④海岸林整備	松枯れで、防風林機能が停止している箇所への植栽	500	1,503	1,003	900㎡×1.67千円/㎡
		松くい虫被害木駆除 守るべき「高度公益機能林」に隣接する、2km範囲以内の民地での駆除	0	3,000	3,000	30本×100千円/本
⑤木材利用促進	公共施設などの木造建設 木質バイオマスの利用拡大等を想定	0	0	0	R3以降実施 (今後支援策を検討)	
小 計			7,945	16,786	8,841	
6 基金積立金			56,456	47,615	△ 8,841	
合 計			64,401	64,401	0	